

担当：こども政策課  
(0274-62-1511)

# なぜ こどもや若者の意見を聴くの？

令和5年4月に施行された「こども基本法」において、こども施策を策定、実施、評価する時には、こどもや若者、子育て当事者等の意見を反映させるための仕組みを設けることが、国や自治体に義務付けられたからです。

## こどもや若者の定義は？

「こども基本法」において、「こども」とは「心身の発達過程にある者」とされています。年齢による定義はありません。「若者」については、法令上の定義はありません。こどもや若者は、「こどもまんなか社会」を共に作るパートナーです！



→ とみおかこども・若者意見箱に投稿できる人は、小学1年生～39歳まで

## こども施策って何？

こどもの健やかな成長に対する支援や結婚・妊娠・出産・子育てに対する支援を主な目的とする施策、教育・雇用・医療など、幅広い施策が含まれます。こどもや若者が暮らすまちの未来、住環境、通学・通勤の道路、公園・児童館等の居場所等、あらゆる部署の施策は、こどもや若者が当事者になり得ると考えられます。

→ 組織全体で、こどもや若者の意見反映に取り組むことが大事！

## なぜ意見を聴くことが大事なの？

- ① こどもや若者の状況・ニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになります。
- ② こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員として主体を高めることにつながります。ひいては、民主主義の担い手の育成に資すると考えられます。

→ 富岡市の施策に興味や関心を持ってもらい、地域への誇りと愛着(シビックプライド)の醸成を高めることも期待できるね。

## 意見を全て反映しなくちゃいけないの？

こどもや若者から意見を聴くということは、こどもや若者の言うとおりにするということではありません。

大切なことは、施策の目的や内容に応じて、また意見を表明したこどもや若者の年齢、発達に応じて、出された意見を正當に考慮することです。それは、こどもや若者にとって一番よいことは何かを考えること、そして結論に至る考え方を説明し、対話する過程をつくることです。

→ 意見に対する市の回答を市ホームページで公表するよ。意見を投稿した人が回答を確認することで、市の考え方を知ることができるね